

名古屋大学宇宙地球環境研究所 研究員  
の募集について

1. 募集人員：1名

2. 所属：名古屋大学宇宙地球環境研究所陸域海洋圏生態研究部

3. 職務内容：

名古屋大学宇宙地球環境研究所では、令和元年度科学研究費助成事業（基盤研究（S））採択課題「北極海－大気－植生－凍土－河川系における水・物質循環の時空間変動」（英文名称 Pan-Arctic Water-Carbon Cycles：略称 PAWCs）（研究代表者：檜山哲哉・名古屋大学宇宙地球環境研究所・教授）を実施し、北極域や環北極陸域における大気水循環と陸域水循環の時空間変動と、その結果として生じる温室効果気体収支の時空間変動に着目した研究を行っています（<https://pawcs.home.blog/>）。

このたびの公募では、PAWCsの研究を分担し、環北極陸域の植生状態・湛水状態・温室効果気体フラックスの時空間変動に関わるデータセット公開に貢献できる方を募集します。具体的に分担して頂く研究テーマの例を以下に示します。（下記のうち、少なくとも一つ以上の研究テーマを基盤に横断的な研究を遂行できる方を募集します。）

- 1) 起源別の水の動きを追跡する水循環モデル（水蒸気トレーサーモデル・陸域生態系モデル・凍土モデル・河川モデル）の開発・改良・データ解析。あるいは、これらのモデルを統合した水循環モデルの開発。
- 2) 大気再解析データやモデル出力値を用いた大気水循環解析と陸域水循環解析。
- 3) 衛星リモートセンシングデータを用いた植生状態・湛水状態・温室効果気体フラックスの時空間変動解析。
- 4) 東シベリアと北モンゴルの森林における温室効果気体フラックス観測とデータ解析。

4. 応募資格

- 1) 博士の学位を有しているか、または着任予定時までに取得見込みであること。
- 2) 着任予定時に主たる職、或いは大学院生、研究生等の身分を有しないこと。

5. 身分・給与等

(1) 身分：研究員（任期付正職員）

※能力や実績が十分あると認められた場合、採用後、特任助教にする可能性があります。

(2) 給与：年俸制（月額 32 万円～42 万円）

※経歴等による。

※東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用職員給与規程（下記）参照。

[https://education.joureikun.jp/thers\\_ac/act/frame/frame110000191.htm](https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110000191.htm)

(3) 勤務時間：週 38.75 時間勤務を基本とした裁量労働制適用

- (4) 保 険 等：文部科学省共済組合（健康保険、厚生年金）、雇用保険、労災保険
- (5) その他：東海国立大学機構職員就業規則に定めるところによる

[https://education.joureikun.jp/thers\\_ac/act/frame/frame110010928.htm](https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm)

## 6. 採用予定時期

令和3年4月1日以降、なるべく早い時期（採用時期については相談に応じます）。

## 7. 雇用期間

雇用契約は年度毎とし、最長、令和6年3月末まで雇用更新の可能性あり。

## 8. 選考方法

基本的に書類審査により選考するが、必要に応じて面接も行う。

## 9. 提出書類

- (1) 履歴書
- (2) これまでの研究概要（A4版で2枚程度）
- (3) 研究業績目録（原著論文、著書・総説、学会発表別に記載）
- (4) 主要な論文3編のコピー
- (5) 研究内容等に対する抱負（A4版で2枚程度）
- (6) 所見を求めうる方（2名）の氏名および連絡先
- (7) 着任可能時期

## 10. 応募締切

令和3年3月1日（月）必着（ただし、適切な方が見つかれば次第、応募を終了します）。

## 11. 書類送付先及び問い合わせ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学 宇宙地球環境研究所 教授 檜山哲哉

Tel: 052-789-5439

E-mail: [hiyama@nagoya-u.jp](mailto:hiyama@nagoya-u.jp)

（封筒の表に「研究員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で郵送してください。）

備考：上記の公募に関連して提出されたすべての個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報については責任を持って破棄いたします。また、当研究所では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。名古屋大学の取り組みについては、次の URL をご覧ください。

<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>